

<p>種名</p>	<p style="text-align: center;"><u>ホ ト ト ギ ス</u></p> <p style="text-align: center;"><u>Cuculus poliocephalus</u></p> 													
<p>分類</p>	<p>ホトトギス目ホトトギス科</p>													
<p>特徴</p>	<p>特許許可局と聞こえる大きな声で鳴く、小さめのホトトギス類。ウスリーから東南アジアにかけて繁殖し、日本では北海道南部から九州までの地域に夏鳥として普通に渡来後、繁殖する。</p>													
<p>生活</p>	<p>托卵性を持ち、主な托卵相手はウグイスである。棲息環境もウグイスと一致し、低地から山地のササ藪のある林に棲息する。単独で行動することが多く、主に樹上で昆虫類を捕まえる。他の鳥類と比較して、毛虫をよく食べる。メスは托卵相手の鳥の巣からウグイスの卵によく似たチョコレート色の卵を産み込む。卵は仮親が抱卵を始めてから10～13日で孵化する。</p>													
<p>声</p>	<p>繁殖期には、オスは「キョッキョツ」と鳴き続け、この声を「テッペンカケラカ」とか「ホウゾンタテタカ」「特許許可局」などと聞きなしている。また、鳴き終わりに「ピピピピ」と鋭い声をつけることもある。メスは「ピピピピ」と鳴くだけだという。昼間も夜もよく鳴き、飛びながらも鳴く。</p>													
<p>見分け方</p>	<p>カッコウとツツドリによく似るが、やや小さく、下面の横しまは太くて少ない。しかし、声による以外は、条件がよくないと見分けるのが難しい。メスに赤色形がある。</p>													
<p>時期</p>	(月)	-	-	-	-	5	6	7	8	9	10	-	-	
<p>その他</p>	<p>全長(L)28cm 翼開長(W)46cm</p>													
<p>参考文献：山溪カラー名鑑 日本の野鳥</p>														